

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	令和 5 年度 第 2 回相模原市スポーツ推進審議会		
事務局 (担当課)	市民局 スポーツ推進課		
開催日時	令和 6 年 3 月 1 8 日 ( 月 ) 午後 3 時 0 0 分 ~ 午後 4 時 3 0 分		
開催場所	相模原市役所 第 2 別館 3 階 第 3 委員会室		
出席者	委員	8 人 ( 別紙のとおり )	
	その他		
	事務局	8 人 ( スポーツ・文化担当部長 他 7 人 )	
公開の可否	可    不可    一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由	/		
会議次第	<p>1    あいさつ</p> <p>2    議 題       令和 6 年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について</p> <p>3    報告事項       令和 6 年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について</p> <p>4    その他</p>		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり（ は委員の発言、 は事務局の発言）

### 1 あいさつ

開会に先立ち、スポーツ・文化担当部長及び安井会長からあいさつを行った。

### 2 議題

#### 【令和6年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付について】

事務局の説明後、審議を行い、令和6年度相模原市スポーツ団体事業費補助金の交付は適当である旨、市へ答申することが承認された。主な意見は次のとおり。

（公財）相模原市スポーツ協会への補助金額を見ると、多額な経費をスポーツ推進に費やしていただいている印象を受ける。大規模な大会の開催誘致等、知名度の向上や目玉となる競技種目の推進につながるような新規事業を検討する余地はあるのか。

国際自転車ロードレースのツアー・オブ・ジャパンを誘致し、自転車競技を軸として推進している。（公財）相模原市スポーツ協会への補助については、内容の8割ほどは管理費（事務費・人件費）が占めていることを補足させていただく。

補助金額についての妥当性が判断できないため、資料に補助内容の実施結果等を掲載してもらえるとイメージがわかりやすい。

今後お示しする方向で検討したい。

補助の内容の実施結果等については、掲載することで情報量が膨大になってしまうという懸念があったのではないかと推測する。事務局からの口頭説明や質疑応答で対応できるのではないかと推測する。委員の負担が大きくなりすぎることのないよう、検討をお願いしたい。

相模原市は目立つものが少ないように感じられる。青山学院大学の拠点であることや相模原ギオンスタジアムを有効活用してほしい。ホームタウンチームの試合への無料招待は、市民のスポーツ観戦意欲を向上させるため今後も続けてほしいが、市からの支出はあるのか。

ホームタウンチームの試合への無料招待（市民DAY）については、市としては小中学校へのチラシ配布やXでの発信等広報面で協力しており、費用についてはチームが協賛企業やスポンサー企業を募ることで無料となっているため、補助内容には含まれていない。

### 3 報告事項

#### 【令和6年度相模原市スポーツ事業の予算概要等について】

資料の参考2「令和6年度スポーツ団体事業費補助金予算について」の「(3)地域スポーツ活動費(社会体育団体等補助金)」について、「イ 予算の状況」にはイベントの実行委員会への補助金額等も含まれていることを補足させていただく。

部活動地域移行については、こどもたちを第一に他市に遅れることなく進めていく必要がある。相模原市モデルのようなものがうまれるのは理想的。

部活動地域移行に係る市の進捗状況は公表されているか。

令和6年度より「相模原市部活動地域移行審議会」を設置し、年度内に8回ほど審議会を開催する予定。審議会の会議録等は、市のホームページから確認していただけるようになる。

こどものスポーツへの興味関心が失われつつある。部活動地域移行は、こどものスポーツの向き合い方に大きく影響を与えるため、今後の取組に期待している。

人材確保が課題だと思うが、相模原市は住みやすい市という印象があり、マンパワーも他市と比べて充実しているのではないかと思う。

部活動地域移行の対象は中学生か。国や県との役割分担はどのようになっているのか。また、国からの補助はあるのか。

相模原市立中学校(義務教育学校の後期課程を含む)の休日部活動を対象としている。国はガイドラインを提示しており、地域ごとに特性があることから現在は自治体ごとに段階的に推進することとなっている。相模原市は市域が広く一律的な方法での地域移行は難しいため、まずは目指す姿を定め、課題の洗い出しを行う。そのうえで必要な予算は、市の予算だけでなく、国の補助金等の活用や受益者負担の検討が必要になる場合がある。

小学校でも専門的な競技種目を授業で取り扱うことが教員の負担になっていると聞く。即時的に人材を確保できるような仕組みの構築ができるとよい。

神奈川県では人材バンクを設置し、指導者の登録が始まっている。人材確保についても部活動地域移行審議会のなかで意見を聴取し検討していく。

人材不足により部活動地域移行後も教職員が指導者として指導に当たらざるを得ない地域もあると聞く。受益者負担では多額の収入は見込めないため、民間団体等の活用が必要だと考える。

市に協力できる大学もあるため、市には国の補助金等を獲得する方策を検討してもらい、大学への協力要請を行ってほしい。

将来的には国の補助金等はなくなる可能性が高いため、持続可能な仕組みづくりを検討したい。

補助金等の活用により洗い出せる課題もある。指導者の資質という面で課題はあるが、学生ボランティアの活用は少額の支出で子どもにとっても学生にとってもメリットがあり持続可能な仕組みを構築できる可能性がある。市内の大学生を活用すれば、幅広い種目をカバーできる。

スポーツ施設の管理費について、多額の予算が費やされていると感じるが、運営で賄うことはできるのか。

3年に一度、受益者負担を見直しているが、現状賄えていない状況。

市民のスポーツ施設の利用率が上がれば、賄えるようになるのか。

収入が増え、特定財源として活用できる部分もある。

黒字にはならないと思われるが、市民サービスの観点から市がある程度負担するのは致し方ないと思う。

#### 4 その他

特になし。

以上

## 相模原市スポーツ推進審議会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備考	出欠席
1	安井 年文	学識経験者（青山学院大学教授）	会長	出席
2	鈴木 秀知	学識経験者（桜美林大学教授）		出席
3	齋藤 仁美	学識経験者（トップアスリート）		欠席
4	高橋 宏彰	公募市民		出席
5	伊藤 明	公募市民		出席
6	西岡 直子	（一社）相模原市医師会		出席
7	三塚 康雄	（公財）相模原市スポーツ協会		欠席
8	榎本 泰行	相模原市小・中学校長会代表者会		欠席
9	岩永 謙治	相模原市PTA連絡協議会		欠席
10	佐伯 美鈴	相模原市スポーツ推進委員連絡協議会	副会長	出席
11	岡本 和茂	相模原市公民館連絡協議会		欠席
12	吉原 君子	（特非）相模原市障害児者福祉団体連絡協議会		出席
13	三畑 義昭	総合型地域スポーツクラブ （（特非）ミハタ）		欠席
14	山本 順己	ホームタウンチーム （相模原ライズアスリートクラブ）		出席